

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2018.7) 平成29年度:93.

訪問看護師との退院後同行訪問が全盲患者のストーマセルフケアを支えた一事例

中島 貴世, 上野 直美, 田中 理佳, 中村 一美, 谷 誓良

訪問看護師との退院後同行訪問が全盲患者のストーマセルフケアを支えた一事例

○中島 貴世¹⁾ 上野 直美¹⁾ 中村 一美²⁾ 田中 理佳¹⁾ 谷 誓良³⁾

1) 旭川医科大学病院 6階東ナースステーション 2) 同 地域医療連携室

3) 同 消化器病態外科学分野

【はじめに】訪問看護師（以下訪看）との退院後同行訪問により、全盲患者のストーマセルフケア（以下セルフケア）を支えた事例を報告する。

【事例】全盲である60歳代男性、同居している弟も全盲であった。S状結腸穿孔のため、S状結腸断端を外瘻とした。手先が器用、前向きな性格である患者の強みを引き出した指導により、便処理やストーマ周囲のスキンケアを獲得することができた。退院後は訪問看護導入予定

であったが、患者はストーマ管理への不安を抱いており、継続的に統一したセルフケア支援が必要と考え、同行訪問を実施した。

【結果・考察】同行訪問は、訪看との情報共有や退院後の統一した看護介入を可能とし、患者の自宅療養への安心感につながった。また、患者の生活変化に応じて早期介入ができ、セルフケア強化となった。今後は外来チームメンバーとも情報共有を行い、地域包括ケアシステムを推進していく必要がある。